

ニホンナシ‘新高’の汚れ果症の発生抑制対策

西本年伸・山崎睦子・日浦直之*・竹内繁治**

Control Measures for Color Disorder in the Japanese Pear ‘Niiitaka’

Toshinobu NISHIMOTO, Mutsuko YAMAZAKI, Naoyuki HIURA, and Shigeharu TAKEUCHI

要 約

ニホンナシ‘新高’に発生するスジ状タイプの汚れ果症の発生要因を明らかにした。その発生は紙質を改良して撥水性を高めた果実袋を使用することで抑制できた。

1. 汚れ果症の発生は、果実の肥大により果実袋が果皮に密着し始める8月上旬頃から多くなり、果実袋が湿潤な条件下で助長された。
2. 果皮の変色は、*Alternaria* sp. の菌糸、分生子および培養ろ液や *Colletotrichum* sp. の菌糸によって引き起こされた。また、滅菌した慣行小袋(新聞紙)を果皮に密着させ湿潤条件下に置くことでも発生した。
3. 商品価値を著しく損なう汚れの強いスジ状タイプの汚れ果症の発生は、撥水性を高めた紙質に改良した果実袋を利用すると抑制できた。

キーワード：ニホンナシ，‘新高’，汚れ果，果実袋